

# 剣道

No.169  
三木市剣道連盟  
広報部  
7・8月号  
2014(平成26)年9月10日発行

○第60回三木市中学校総体剣道の部(1面)  
○第47回県少年剣道

の集い(2面)  
○第21回ふれあい錬成大会(2面)  
○第7回青野原駐屯地司令杯大会(3面)  
○第27回県警察大会剣道の部(4面)  
○東播地区親善剣道大会(5・6・7面)  
○少年剣道強化稽古会実施中(8面)  
◎月々のたより(8面)

## 自由が丘中学が圧勝 第60回三木市中学校総体剣道の部

第60回三木市中学校総合体育大会剣道の部が7月5日(土)、三木中学校体育館において行われた。来賓として小紫先生、高橋先生、森下先生をお招きし、小椋審判長はじめ多くの三木市剣道連盟の先生方に審判員として来ていただいた。



宣誓する横山選手(自由)

(1) 子1名・女子1名の合計21名。開  
会式では、審判長注意の中で、小  
椋先生から「負けた中で反省をし、

参加者は、三木中学校が男子10名、女子1名、自由が丘中学校が男子7名、女子1名、三木東中学校が男子1名、女子1名、

次につなげていただきたい。」との挨拶から大会が始まった。

まずは、男子個人予選リーグ戦。4〜5人からなる4つのリーグに分かれ、上位3名が決勝トーナメントに進むことができる。Aリーグ1位は、自由が丘中の横山暖。3戦全勝で勝ち上がった。Bリーグ1位は、自由が丘中の鈴木斗麻で3勝1分け、Cリーグ1位は、自由が丘中の松上大起で2勝2分け、Dリーグ1位は、三木東中の赤松伸哉で2勝1分けで勝ち上がった。この4名が決勝トーナメントでも勝ち上がり、準決勝へと進んだ。

女子個人リーグ戦は、中学校に入ったばかりの三木東中の1年生加村仁奈が1勝1分けで優勝した。そして、男子団体戦の自由が丘中学校対三木中学校。先鋒、自由が丘中の松上が三木中の越智に対



1年生で優勝した加村選手(三木東)

して思い切った面を2本打って勝ち、自由が丘中が勢いに乗った。次鋒、三木中学校の清水が自由が丘中の藤井の足が止まったところを面を打って1本勝ち。またまだ分らない展開に。中堅は、自由が丘中の鈴木と三木中の日高翔との対戦。鈴木が先に面で1本を取

2分間の延長を行うルールのもとに延長に入った。そこで、鈴木が日高の出鼻をとらえ小手を決めて勝つ。そして、副将戦。自由が丘中の福本がじっくりと三木中の糸の動きを見て、出小手を打って1本勝ち。自由が丘中の勝利を決めた。大将の自由が丘中の横山と三木中の中川の対戦は引き分けで終わる。

最後に男子個人決勝トーナメント戦。先に述べた横山と鈴木、松

の対戦。鈴木が先に面で1本を取退の攻防、3分間の中で勝敗が決るか。特別ルールで、ある各ポジションで勝敗が決まらなければ一度だけ延長が行われる。延長の間、鈴木が日高の出鼻をとらえ小手を決めて勝つ。そして、副将戦。自由が丘中の福本がじっくりと三木中の糸の動きを見て、出小手を打って1本勝ち。自由が丘中の勝利を決めた。大将の自由が丘中の横山と三木中の中川の対戦は引き分けで終わる。

上と赤松が準決勝で戦った。横山と鈴木は、相手の手の内をよく知り尽くした者同士。なかなか有効打突が出なかったが、最後に横山が1本取って勝つ。松上と赤松は、先に松上が面を1本取るが赤松が小手を2本取り返し逆転で決勝に進んだ。決勝戦は、昨年の新人大会と同じ横山と赤松との対戦。新人大会では、横山が勝っている。決勝戦にふさわしい一瞬の隙も許されない緊迫した攻防が続いた。3分間で決着がつかず延長に入り、疲れも見え始めたところ。思い切った横山の面が、一瞬出遅れた赤松の面をとらえた。この瞬間、横山の優勝が決まった。

(報告 波田幸信)